



# 2012年3月期第2四半期決算(累計) プレゼンテーション資料

2011年10月  
大阪ガス株式会社

# 1. 12.3期第2四半期実績と通期見通し

**インターネットを通じて定期的に経営情報を発信しています** : 下記のURLで、決算短信、アニュアルレポート、説明会資料等を閲覧・ダウンロードすることが可能です。<http://www.osakagas.co.jp/ir/>

**「見通し」に関する注意事項** : このプレゼンテーションには、将来の業績に関する見通し、計画、戦略等が含まれており、これらは現在入手可能な情報から得られた当社グループの判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、日本経済の動向、急激な為替相場・原油価格の変動並びに天候の異変等があります。

**ガス販売量に関する注記** : 全て、基準熱量を45MJ/m<sup>3</sup>として、表記しています。

**連結ガス販売量に関する注記** : 名張近鉄ガス・豊岡エネルギー・新宮ガスは12月決算です。

**四半期表記に関する注記** : 特に断りのない限り、「四半期」は「四半期累計期間」を表します。

# 12.3期第2四半期決算のポイント

## ■ 概況

連結売上高	工業用を中心にガス販売量が増加したことや、LNG価格の上昇に伴い、原料費調整制度に基づくガス販売価格が上昇したこと等から、 <b>前年比3.2%増収の5,596億円</b> 。
連結営業利益	LNG価格の上昇に伴う原材料費の増加により、ガス粗利益が減少したことから、 <b>前年比47.3%減益の188億円</b> 。 <b>時期ずれ差損が283億円発生</b> (前年同期時期ずれ差損69億円)。
■ ガス販売量	
家庭用	気温・水温が前年より低く推移したこと等から、 <b>前年比0.4%増加の853百万m<sup>3</sup></b> 。
業務用	お客さま設備の稼働増加や新規需要開発等により、 <b>前年比1.6%増加の2,939百万m<sup>3</sup></b> 。
■ その他	
新規事業拡大投資	カナダ・シェールガス開発プロジェクトや、LNG船への投資等を意思決定。今上半期の投資実行額は計251億円。

# 12.3期第2四半期ガス販売実績

45MJ/m <sup>3</sup>		A. 12.3期2Q	B. 11.3期2Q	A-B	A-B/B(%)
個 別	お客さま数(千件)	7,021	6,990	+30	+0.4%
	新設工事件数(千件)	32	33	-1	-4.3%
	家庭用1戸当り販売量(m <sup>3</sup> /月)	24.5	24.4	+0.0	+0.2%
	家庭用	853	850	+3	+0.4%
	商・公・医療用	809	845	-36	-4.2%
	工業用	2,129	2,047	+82	+4.0%
	業務用計	2,939	2,892	+46	+1.6%
	他ガス事業者向け	233	231	+2	+0.7%
	(うち大口供給)	(2,510)	(2,448)	(+62)	(+2.5%)
	ガス販売量合計(百万m <sup>3</sup> )	4,024	3,973	+51	+1.3%
連結ガス販売量	4,041	3,991	+50	+1.3%	

# 12.3期第2四半期実績 I

連結:億円	A. 12.3期2Q		B. 11.3期2Q		A-B	A-B/B(%)	( )内は連単倍率 備考
売上高	(1.26)	5,596	(1.31)	5,421	+174	+3.2%	ガス販売量の増加、 ガス販売価格の上昇等
営業利益	(5.98)	188	(1.80)	358	-169	-47.3%	ガス粗利益の減少等
経常利益	(2.82)	194	(1.64)	346	-152	-43.9%	持分法投資利益の増加等
四半期純利益	(2.12)	110	(1.41)	190	-79	-41.8%	
SVA		-56		35	-91	---	

		A. 12.3期2Q	B. 11.3期2Q	A-B
連結ガス販売量	百万m <sup>3</sup>	4,041	3,991	+50
時期ずれ差損益	億円	-283	-69	-213
原油価格	\$/bbl	113.9	78.9	+35.1
為替レート	円/\$	79.8	88.9	-9.1
連結子会社数		131	130	+1

11.3期2Q原油価格実績は、9月速報値までの平均。SVA(Shareholders' value added)=NOPAT-投下資本×WACC *Design Your Energy* 夢ある明日を

# 12.3期第2四半期実績 II

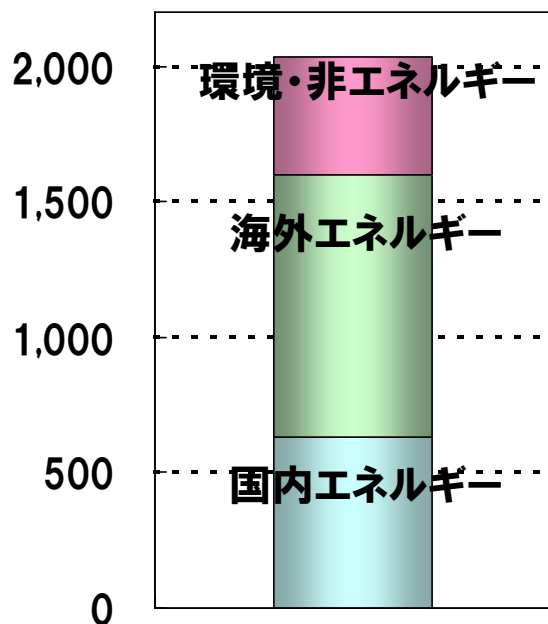
連結:億円	A. 12.3期 2Q末	11.3期 2Q末	B. 期末	A-B	備考
総資産	14,294	13,914	14,372	-78	
自己資本	6,649	6,600	6,649	-0	
有利子負債	5,570	5,246	5,324	+245	借入金・CPの増加
在籍人員	19,939	19,785	19,684	+255	
自己資本比率	46.5%	47.4%	46.3%	+0.2	
D/E比率	0.84	0.79	0.80	+0.04	
	A. 12.3期2Q	B. 11.3期2Q	A-B	備考	
設備投資	331	312	+19	姫路岡山ラインの建設等	
減価償却費	464	479	-14		
フリーキャッシュフロー	-125	-113	-11		
ROA	0.8%	1.3%	-0.6		
ROE	1.7%	2.9%	-1.2		
EPS (円/株)	5.3	8.8	-3.5		
BPS (円/株)	319.3	307.3	+12.0		

FCF=営業活動によるキャッシュフロー(税引後営業利益+減価償却費等非現金支出)-通常の設定投資による支出。Design Your Energy 夢ある明日を

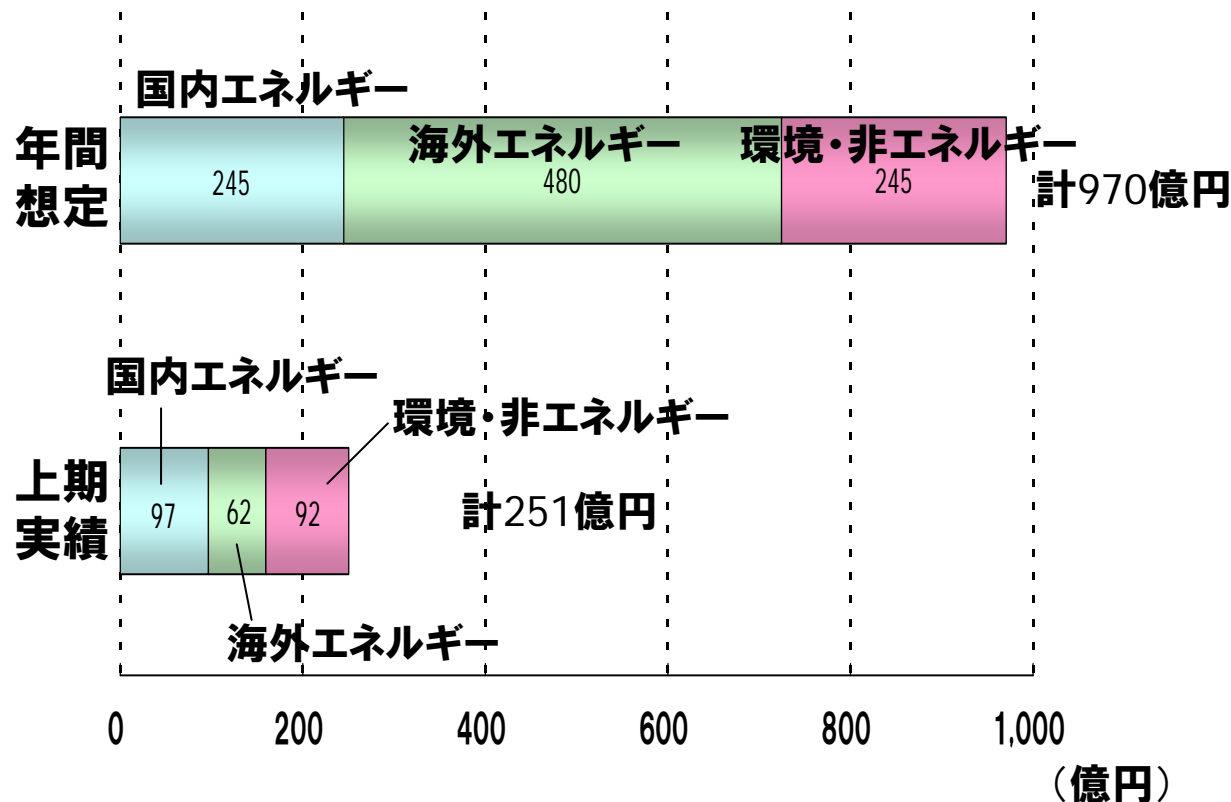
# 12.3期第2四半期新規事業拡大投資実績

- カナダ・シェールガス開発プロジェクトやLNG船への投資を意思決定。
- 10.3期からの累計意思決定済金額は**2,035億円**(10.3期～14.3期計画額の51%)。

10.3期からの  
(億円) 累計意思決定済金額



12.3期の新規事業拡大投資



投資額には設備投資案件と投融資案件の両方を含むため、設備投資の実績値とは異なります。

# 12.3期見通し 修正のポイント

			今回見通し	当初見通し	差	備考
下期の 前提諸元	原油価格	\$/bbl	110	100	+10	10月は\$107/bbl
	為替レート	円/\$	80	85	-5	10月は77円/\$
個別ガス 販売量 (45MJ/m <sup>3</sup> )	家庭用		(1,389)	(1,389)	(0)	下期は 当初見通しの通り
			2,242	2,237	+4	
	業務用 その他		(3,201)	(3,089)	(+112)	上期実績を踏まえた 上ぶれを織り込み
収支 (億円)	売上		12,910	12,670	+240	
	ガス粗利		3,224	3,319	-95	下期の前提諸元を変更
	営雑附帯利益		246	206	+40	電力利益増加等
	労務費・諸経費・ 減価償却費		3,110	3,095	+15	
	連結子会社利益		350	310	+40	ケミカル事業利益増加等
	営業利益		710	740	-30	
	経常利益		700	700	0	

(注)ガス販売量の上段( )内は、12.3期下期の数値(内数)。



# 12.3期ガス販売見通し

45MJ/m <sup>3</sup>		A. 12.3期 見通し	B. 11.3期 実績	A-B	A-B/B(%)
個 別	お客さま数(千件)	7,039	7,012	+27	+0.4%
	新設工事件数(千件)	79	79	-0	-0.2%
	家庭用1戸当り販売量(m <sup>3</sup> /月)	32.2	32.7	-0.5	-1.6%
	家庭用	2,242	2,275	-34	-1.5%
	商・公・医療用	1,553	1,624	-71	-4.4%
	工業用	4,330	4,141	+190	+4.6%
	業務用計	5,883	5,765	+119	+2.1%
	他ガス事業者向け	489	488	+1	+0.3%
	(うち大口供給)	(5,037)	(4,874)	(+163)	(+3.3%)
	ガス販売量合計(百万m <sup>3</sup> )	8,614	8,528	+86	+1.0%
連結ガス販売量	8,646	8,560	+86	+1.0%	

# 12.3期見通し I

( )内は連単倍率

連結:億円		A. 12.3期 見通し	B. 11.3期 実績	A-B	A-B/B (%)
売上高		(1.26) 12,910	(1.29) 11,871	+1,038	+8.7%
営業利益		(1.97) 710	(1.68) 885	-175	-19.9%
経常利益		(1.73) 700	(1.49) 823	-123	-15.0%
当期純利益		(1.58) 435	(1.33) 459	-24	-5.4%
SVA		100	132	-32	-24.2%
連結ガス販売量	百万m <sup>3</sup>	8,646	8,560	+86	
時期ずれ差損益	億円	-277	-85	-192	
原油価格	\$/bbl	111.7	84.1	+27.6	
為替レート	円/\$	79.7	85.7	-6.1	

SVA(Shareholders' value added)=NOPAT- 投下資本×WACC

Design Your Energy 夢ある明日を

OSAKA GAS

# 12.3期見通し II

連結:億円	A. 12.3末見通し	B. 11.3末実績	A-B
総資産	15,192	14,372	+819
自己資本	6,936	6,649	+286
有利子負債	5,718	5,324	+393
在籍人員	19,830	19,684	+146
自己資本比率	45.7%	46.3%	-0.6
D/E比率	0.82	0.80	+0.02
	A. 12.3期見通し	B. 11.3期実績	A-B
設備投資	908	696	+212
減価償却費	968	975	-7
フリーキャッシュフロー	708	727	-19
ROA	2.9%	3.1%	-0.3
ROE	6.2%	6.9%	-0.7
EPS (円/株)	20.9	21.6	-0.7
BPS (円/株)	333.1	319.3	+13.8

FCF=営業活動によるキャッシュフロー(税引後営業利益+減価償却費等非現金支出)－通常の設備投資による支出。Design Your Energy 夢ある明日を

# カナダ・シェールガス開発プロジェクトへの参画

- カナダ・ブリティッシュコロンビア州のコルドバ堆積盆地におけるシェールガス開発プロジェクトに、コンソーシアム(\*)を編成し共同参画することを決定。
- プロジェクトの50%権益を保有するCordova Gas Resources社に、7.5%出資。
- 埋蔵量:1~1.6億トン(LNG換算)、生産量:350万トン/年(LNG換算)
- シェールガス開発の動向に関する知見を得るとともに、将来的に、シェールガスをLNGとして、日本へ輸入する可能性についても検討を進める。



(\*) コンソーシアム...三菱商事株式会社、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)、中部電力株式会社、東京ガス株式会社、大阪ガス株式会社の5社で編成

# LNG船の建造

- **新規LNG船2隻の建造を決定。**
- **主に、新規LNG契約の自社向け輸送に使用する予定。**
- **就航予定：**  
2014年9月および2015年4月
- **積載容量：153,000m<sup>3</sup>**
- **建造造船所：三菱重工業株式会社**
- **船舶管理：株式会社商船三井**



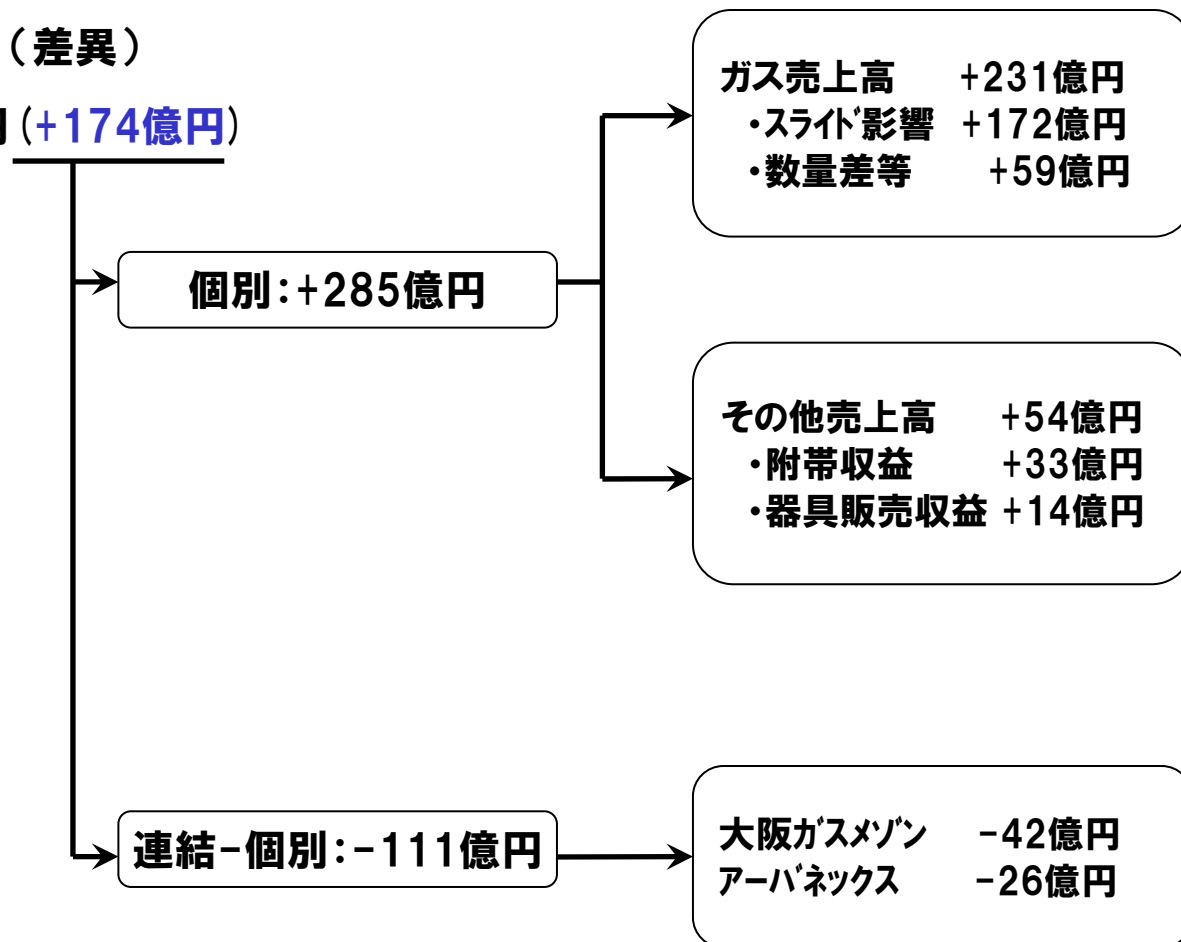
外観イメージ

## II. 参考資料

# 12.3期第2四半期の売上高差異(対11.3期)

11.3期2Q → 12.3期2Q (差異)

5,421億円 5,596億円 (+174億円)



# 12.3期第2四半期の経常利益差異(対11.3期)

11.3期2Q → 12.3期2Q (差異)

346億円

194億円 (-152億円)

個別: -142億円

連結-個別: -9億円

ガス粗利 -161億円  
・スライド'影響 -213億円  
・数量差等 +51億円

費用増加 -20億円  
・委託作業費増加 -7億円  
・修繕費増加 -3億円  
・租税課金増加 -3億円

その他事業利益 +15億円  
・附帯利益 +7億円

営業外収支 +24億円  
・受取配当金 +21億円



# セグメント別実績

単位:億円	売上高		セグメント利益		備考
	12.3期 2Q	11.3期 2Q	12.3期 2Q	11.3期 2Q	
ガス	4,182	3,943	-42	136	売上:ガス売上増 利益:時期ずれ差損の拡大
LPG・電力・ その他エネルギー	821	822	128	127	
海外エネルギー	51	54	27	27	
環境・非エネルギー	861	885	82	69	売上:不動産事業売上減等 利益:ケミカル事業利益増等
消去又は全社	-320	-283	11	12	
連結	5,596	5,421	208	373	

セグメント利益 = 営業利益 + 持分法投資利益

# セグメント別見通し

単位:億円	売上高		セグメント利益		備考
	12.3期 見通し	11.3期 実績	12.3期 見通し	11.3期 実績	
ガス	9,655	8,798	210	419	売上:ガス販売価格の上昇 利益:時期ずれ差損の拡大
LPG・電力・ その他エネルギー	2,060	1,747	275	256	売上:電力・LNG販売売上増、 LPG販売単価増等 利益:電力利益増等
海外エネルギー	110	111	60	49	持分法投資利益増 (スペインIPP、北海油田)
環境・非エネルギー	1,755	1,854	175	156	売上:不動産事業売上減等 利益:ケミカル事業利益増等
消去又は全社	-670	-640	20	25	
連結	12,910	11,871	740	907	

セグメント利益＝営業利益＋持分法投資利益

# 12.3期第2四半期月次ガス販売の推移

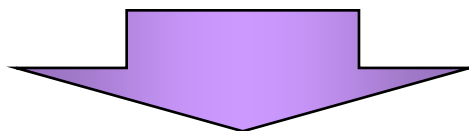
前年同月比 (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	累計	備考	
家庭用	101.5	96.2	100.7	94.7	99.4	116.9	100.4	気温影響	
商公医療用	102.4	94.8	103.7	97.4	91.7	90.4	95.8	節電対応の兆候	
工業用	103.3	107.5	102.5	102.6	106.4	102.1	104.0		
業 種 別	機械	87.9	95.7	99.3	95.6	99.0	96.9	95.8	震災後のサプライ チェーン途絶による 稼動減
	金属	104.6	106.4	100.6	104.0	111.4	105.0	105.3	震災後の東日本から の生産シフト・復興需 要による稼動増
	ガラス	114.3	115.8	105.9	110.0	109.7	114.7	111.6	
	食品	101.8	106.0	105.7	100.3	100.6	101.9	102.7	
	化学	101.6	110.9	98.5	96.2	98.1	94.6	99.8	
卸	101.0	108.3	100.8	94.0	102.5	97.6	100.7		
計	102.4	102.1	102.2	99.6	101.1	100.1	101.3		

# 家庭用ガス販売

## 12.3期2Q実績

	対前期	備考
調定件数	+0.2%	
気温影響	+1.3%	平均気温23.3度(対前期▲0.3度)
その他	-1.1%	
合計	+0.4%	



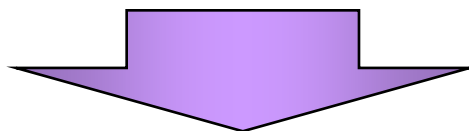
## 12.3期通期見通し

- 上期は、当初見通しを4百万 $m^3$ 上回った。
- 下期は、当初見通し通りで想定。
- 通期では、当初見通しを4百万 $m^3$ 上回り、対前期34百万 $m^3$ 減の2,242百万 $m^3$ と想定。

# 商公医療用ガス販売

## 12.3期2Q実績

	対前期	備考
需要開発	+2.8%	公用物件を中心とした新規稼動
気温影響等	-1.5%	夏場の低気温による冷房需要の減少
その他	-5.5%	お客さまの省エネルギー推進等の影響
合計	-4.2%	



## 12.3期通期見通し

- 上期は、当初見通しを1百万 $m^3$ 上回った。
- 下期は、当初見通し通りで想定。
- 通期では、当初見通しを1百万 $m^3$ 上回り、対前期71百万 $m^3$ 減の1,553百万 $m^3$ と想定。

# 工業用ガス販売

## 12.3期2Q実績

	対前期	備考
需要開発	+3.2%	他燃料からのガス転換等
稼動増減等	+0.8%	お客さま設備の稼動増加等
合計	+4.0%	

## 主な業種別実績 (45MJ, 百万m<sup>3</sup>)

	販売量	対前期比
機械	175	95.8%
金属	531	105.3%
ガラス	170	111.6%
食品	258	102.7%
化学	580	99.8%

## 12.3期通期見通し

- 上期は当初の見通しを51百万m<sup>3</sup>上回った。
- 下期も、上期実績を踏まえた上ぶれを織り込み、通期では、当初の見通しを163百万m<sup>3</sup>上回り、対前期190百万m<sup>3</sup>増の4,330百万m<sup>3</sup>と想定。

# 年度見通しに対するリスク要因

## ■ 気温・水温

- 気・水温1度の変化に対して、家庭用ガス販売量は、春秋期約5%・夏期約6%・冬期約4%変動する可能性がある。

## ■ 原油価格

- LNG価格は原油価格にリンクするために、原油価格1\$/bblの変化に対して、今年度下期の粗利益は7億円変動する可能性がある。

## ■ 為替レート

- LNG価格は米ドル・円の為替レートにリンクするために、為替レート1円/\$の変化に対して、今年度下期の粗利益は12億円変動する可能性がある。

## ■ 原料費

- 原料費調整制度によって、中長期的には原料費の変動はガス料金に転嫁されるが、反映までのタイムラグや原料調達先の構成によって、業績に影響を与える可能性がある。

## ■ 金利

- 金利1%の変動に対して、今年度の連結営業外費用が年間6億円変動する可能性がある。